

ココロ踊る！山麓生活のスヌメ(第1回)

新しい生活のステージに向かって、備えて

2021.04.16

憧れの地へ

東京の桜が満開となった3月下旬、八ヶ岳はまだまだ雪に覆われ、冬山の様相をとどめている。しかし、その麓は梅の花が咲き、田んぼのあぜにはホトケノザやナズナも花を開き始めた。都市部に比べるとゆっくりではあるが、春は山麓にも来ている。

私たちが移住しようとしている山梨県北杜市は、県の北西部、長野県と接する位置にある。北は八ヶ岳、東は瑞牆(みづがき)山や金峰(きんぷ)山など奥秩父の山、そして南は南アルプスの甲斐駒ヶ岳や鳳凰山など、有名な山々が囲む。そんな山岳地のため夏は涼しく、標高の高いエリアはエアコンいらずなのだとか。また、年間を通じて晴天率が高いのが特徴で、冬の積雪量は少なく、山岳リゾート地や移住先として人気がある。

私たち家族はこの春、定住を考えて、八ヶ岳が望める北杜市の土地を購入した。以前は畑として使われていたものの、ここ数年は空き地になっていたところである。八ヶ岳の裾野に当たるため、周辺は緩い南向きの傾斜地で、水田や畑の中に集落が点在している、まさに「山里」のイメージそのもののような場所だ。「山麓生活のスヌメ」というタイトルでありながら、まだ家はなく、実際に生活するようになるのはもう少し先のこと。しかし、移住するまでの過程を含めて気長に、そして一緒に楽しんでもらえたらと思っている。



八ヶ岳がきれいに見える北杜市(購入した土地は、写真とは別の場所です)

家族が増えて価値観が一変… 続きを読む